

長・中・短波の技術とサービスのトピックス —電電公社発足まで— Public lines based on long, medium, and short waves (around 1970)

●電電公社設立 (52)

●戦争終結

●戦争勃発により逐次電波管制実施 (41)

●通信省、東京―鹿児島間の多重無線電話の実験に成功、短波SSB方式 (37)

初の海洋航路船舶通話

●東京―秩父丸間船舶無線電話開始 (36)

●東京―ロンドン、ベルリン間無線電話開始 (35)

最初の国際電話

●東京―台北 (台)、東京―マニラ (比) 間無線電話開始 (34)

●小山送電所完成、対米通信業務開始 (30)

●各地無線電信局航空機の通信開始 (29)

●海底線不通時の連絡用短波局新設 (28)

●陸線障害時の連絡用短波局新設 (26)

最初の短波移動通信

●東洋丸、東京、落石およびサンフランシスコ間で短波通信試験開始 (26)

●岩槻受信所で短波電信の送信開始 (25)

●岩槻受信所で短波受信に成功 (24)

●大阪無線電信局で対欧受信試験に成功 (23)

有線―無線通話による公衆通信の始まり

●神戸中央電信局所属一般加入者―船舶間無線電話通信開始 (23)

●TYK式無線電話により公衆電報取扱開始 (16)

●日本―ハワイ間無線電信試験に成功 (15)

●落石無線局―ペトロハヴロフスク (露) 間への国際固定無線業務開始 (15)

●通信省、TYK式無線電話を開発 (12)

公衆通信に無線電信を初めて利用

●銚子無線電信局、天洋丸無線電信局開設 (08)

●通信省、長崎―基隆 (台湾) 間長距離無線電信に成功 (03)

●通信省、東京湾内海上無線実験に成功 (97)

★マルコーニ、(伊) 無線電信を發明 (95)